

## 「女性のための政策参画セミナーin江北町」を開催しました

つながる子育て まちづくり



今年度4市町で開催した「女性のための政策参画セミナー」、連続セミナーの最後は江北町と共催で開催しました。

2013年11月10日と17日、江北町公民館を会場に、江北町女性ネットワークの会、江北小学校PTA、江北中学校育友会、江北町幼児教育センター親の会、社会福祉法人ひとのね永林寺保育園保護者会、江北町子育てグループ「ちようちよ」、にじいろ文庫、武雄杵島翼の会、つばさ会の協力で行いました。

### 第1回 「小さな想いを 大きな形へ」

講座第1回の講師は、伊万里市議会議員の盛泰子さん。にじいろ文庫の会員の方が、司会進行をしました。

初めに盛さんの自己紹介から。

「伊万里に図書館をつくる市民運動の中で、市議会議員補欠選挙に出ることを決めました。そのとき下の娘は3歳。友人からは『小さい子どものためにも、次の選挙にしたら』と言われましたが、『今しか見えない問題がある』と話す、『よし、わかった。応援する』と、協力してくれました。スタッフも子育て中の人たち。夕方の5時か6時に一度選挙事務所を閉め、家事を済ませた夜8時過ぎに戻ってそれから会議。こんな選挙事務所見たことない、と周りの人に言われました。それまで選挙活動について違和感を持っていた活動は、自分たちのやり方で改革していき、電話作戦もやめました。気づいたことを互いに出すことで、今までのやり方って何だったんだろうね、と考え合うことにもなりました」。



「こうだったら良いのと思うことを実現するのが政策参画」と、盛さんは、伊万里市での学童保育を例に話されました。以前、4月1日から小学校の入学式までの期間は学童保育が行なわれず“ブラックホール”となっていました。母親たちの声が届き、改善されたそうです。

盛さんは、「家庭でも、自治会でも、PTAでも、議会でも、男女を問わずきちっと発言していくことが大事。まずできることとして、想いを口に出して言いましょ。発言する人に対して、あの人が言いたがりやもんね、と言うのではなく、勇気をたたえるつもりで、発言することが苦ではない人をいっしょに育てていきましょう」と語られました。



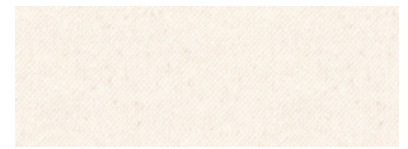
グループに分かれてのクロスロードゲームでは、活発な意見交換がなされました。

最後に、盛さんは「今日が人生で一番若い日。『年やっけん』と、チャレンジするのをやめることなく、いろいろなことをやってみましょ」と呼びかけられました。

<参加者の感想から>

🔴クロスロードゲームがおもしろく、何かきっかけがあると、皆すごく意見が言いやすくなるのがわかった。

- 🔴「口に出してこそ伝わる」その通りですね。自分の想いを口に出して行動しなければ！！という考えが出てきました。
- 🔴江北町に女性の議員がないのは、とても残念なことだとずっと思っています。これを機に江北町の女性パワーを町の政策に生かせることができるといいなと思いました。
- 🔴思ったこと、気づいたことを口に出す勇気を持つことが、次へつながるということ、今日のお話で感じました。



## 第2回 「私の生き方、活かし方」

講座第2回は、講師の佐賀女子短期大学非常勤講師の池田宏子さんとのジャンケンゲームで始めました。勝ちぬけた人が今回の司会役。急な展開にも関わらず、最後まで見事な進行をしてくださいました。

池田さんは、社会の中で生きるにあたって、まず、私とは何か、私はどういう人間なのか、欠点も含め自身を認識し受け入れる自己肯定と、社会や他者からの受容が必要であるという話から始められました。

続けて、「周りから批判されたと感じたときは、拒絶するのではなく、『そういう見方もありますよね』と、自分自身をより確認する素材、自分を強くする手段と受けとめる。他の人の発言に反対するのは相手の人格を否定するような罪悪感を持ち、反対意見を言うことに臆病になりがちだが、信念と意見は違う。意見は変わっていいもので、意見は完璧であるはずはなく、完璧な意見を出そうと思う必要はない」と述べられ、意見と人格と信念を別々に分けて考える習慣をつけることを勧められました。



池田さんは、子どもたちに「議論」させること、議論になれる習慣をつけることも勧められました。意見はあくまでも意見、結論を出すための素材であり、自分たちで考えたことを実行する喜びを子どもたちに知ってほしいと話されました。

「私の活かし方」について池田さんは、委員や役員になると声がかかるということは、資格審査がもう終わっているということ、「いかがですか」と言われたら「私でよければ」と引き受けましょう、初めてだから気づけることと言えることがある、「私の意見」はきっと審議会や審査会に活かされます、と語られました。



質疑応答では、「議会の傍聴に子どもを連れて行ったが、途中で退席を求められ、哀しかった」という体験や、「審議会は平日の昼間以外には開かれないのか」という質問などが出され、審議会委員の公募枠の設定や託児付きの審議会、夜間の開催などへの要望もあがりました。

<参加者の感想から>

- 🔴意見への反論は、自分の人格や信念を否定されているわけではない、と捉えることが大事、というお話が印象に残りました。
- 🔴嫁いできた江北町ですが、今後一生住む町として、何か自分にできることはないかを考えています。より住みやすい町になりますように・・・。
- 🔴政策参画、小さい子の子育て中、フルタイムの仕事、実家が遠い・・・などの環境の中で自分をどう活かしていけるのだろうと、まだ、解決できません。したい気持ちと、動けない環境の中で、もどかしく思っています。審議会の開催について、託児の実施や、時間帯等、そういったところの環境を整えていただけたら・・・と思っています。
- 🔴自分の思いをスピーチすることを、小さい時から行なうことは非常に良いと思う。



## 今後の日程

## 公開講座「人がしあわせになる社会のために～あなたの一歩 わたしの一歩」

ジャーナリストとして女性労働をめぐる問題や格差問題に取り組んでこられた、和光大学現代人間学部教授の竹信三恵子さんを講師にお迎えし、公開講座を開催します。

世界における女性の政策参画の状況、日本の現状と課題、わたしたちがすべきことなどをお話いただきます。

どなたでもご参加ください。

- 講師 竹信 三恵子さん(ジャーナリスト・和光大学教授・東日本大震災女性支援ネットワーク共同代表)
- 日時 2013年12月7日(土)14時から16時(開場 13時30分)
- 会場 鳥栖市民文化会館 3階 研修室
- 定員 80名
- 参加費 無料
- 主催 佐賀県立男女共同参画センター、鳥栖市、嬉野市、吉野ヶ里町、江北町

\* 詳しくは 、[案内チラシ](#)(358KB; PDFファイル)をご覧ください。

[<< 戻る](#)

[↑ このページの上へ](#)

 佐賀県立男女共同参画センター  
佐賀県立生涯学習センター

 [アクセス・交通機関のご案内](#) ▶

 [お問い合わせ/ご意見・ご要望](#) ▶

### アバンセ

佐賀県立男女共同参画センター・佐賀県立生涯学習センター

〒840-0815

佐賀県佐賀市天神三丁目2-11(どんどんの森内)

TEL:0952-26-0011 FAX:0952-25-5591

【指定管理者】[公益財団法人 佐賀県女性と生涯学習財団](#)

Copyright (C) 2011 Avance All rights reserved

### 開館時間

火曜～土曜日:8時30分～22時00分

日曜・祝日:8時30分～17時00分

(ホールは22時00分まで)

### 休館日

毎週月曜日(祝日も含む)

12月29日から翌年1月3日まで